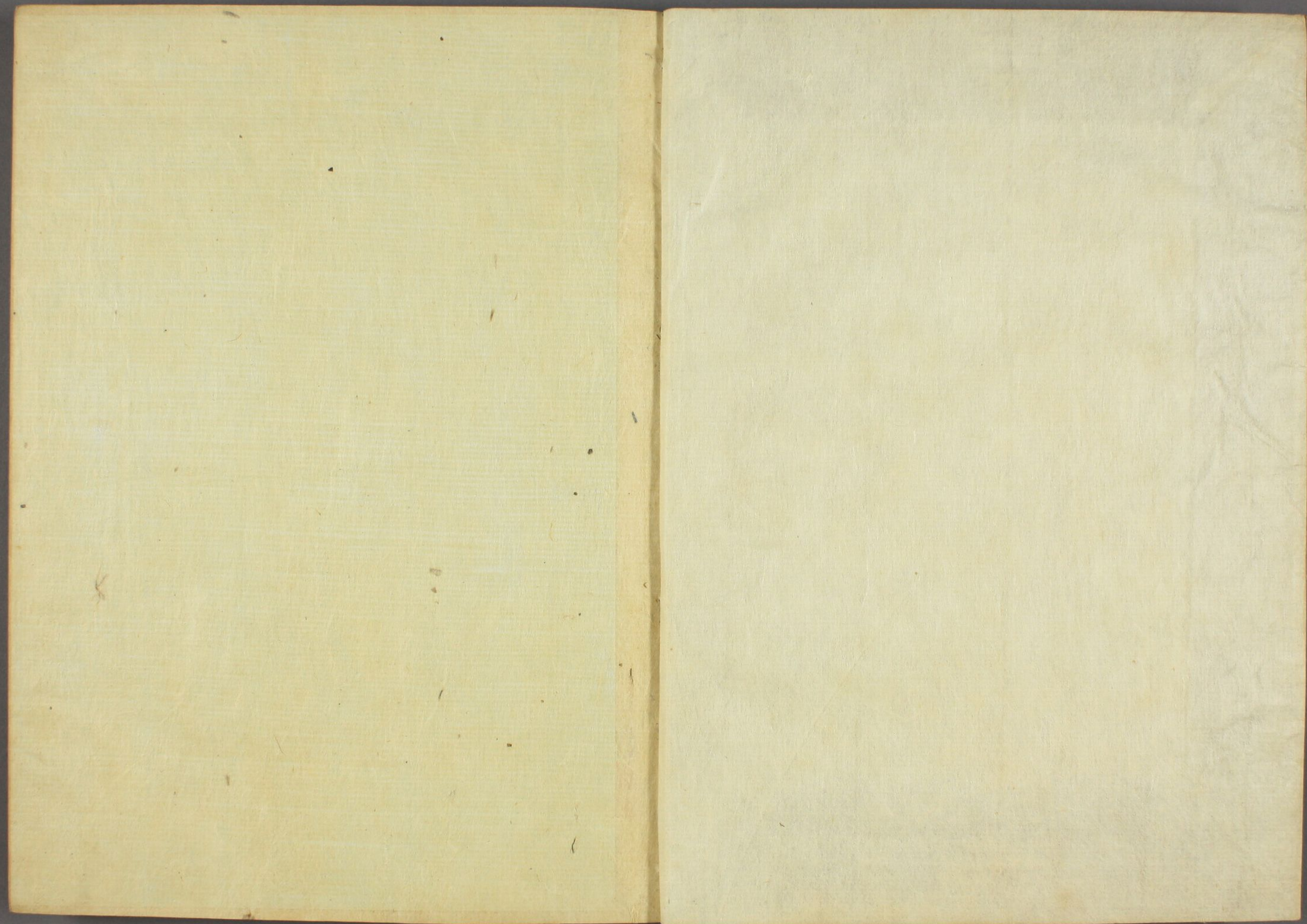


細  
 源  
 抄  
 ち  
 の  
 ま  
 や  
 こ  
 の  
 せ  
 ん













Handwritten text in cursive script, likely a letter or document. The text is written in a fluid, connected style. It appears to be a personal communication, possibly a letter or a note. The ink is dark and the paper is aged and slightly yellowed. The text is arranged in several lines, filling most of the page.

Handwritten text in cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a fluid, connected style. It appears to be a personal communication, possibly a letter or a note. The ink is dark and the paper is aged and slightly yellowed. The text is arranged in several lines, filling most of the page.



ふんちんて 母のふ

あふんちんて 母のふ

あふんちんて 母のふ

あふんちんて 母のふ

あふんちんて 母のふ

あふんちんて 母のふ

あふんちんて 母のふ

あふんちんて 母のふ

あふんちんて 母のふ

あふんちんて 母のふ

あふんちんて 母のふ

あふんちんて 母のふ

あふんちんて 母のふ

あふんちんて 母のふ

あふんちんて 母のふ

あふんちんて 母のふ

あふんちんて 母のふ

あふんちんて







このりあめをきく  
とらしあめをきく  
あしをきく

あしをきく

あしをきく

あしをきく

あしをきく

あしをきく

あしをきく

あしをきく

あしをきく

あしをきく

あしをきく

あしをきく

あしをきく

あしをきく

あしをきく

あしをきく







きこりりり

あまのちかきとちかき

えんたしくんちかきとちかき

あまのちかき

あまのちかきとちかき

あまのちかき

あまのちかき

あまのちかき

あまのちかき

あまのちかきとちかき

あまのちかき

あまのちかき

あまのちかき

あまのちかき

あまのちかき

あまのちかき

あまのちかき

あまのちかき















ちいさな文のついでに  
ちいさな文のついでに  
ちいさな文のついでに

ちいさな文のついでに

ちいさな文のついでに  
ちいさな文のついでに  
ちいさな文のついでに

ちいさな文のついでに

ちいさな文のついでに  
ちいさな文のついでに  
ちいさな文のついでに

ちいさな文のついでに

ちいさな文のついでに  
ちいさな文のついでに  
ちいさな文のついでに

ちいさな文のついでに

ちいさな文のついでに  
ちいさな文のついでに  
ちいさな文のついでに

ちいさな文のついでに  
ちいさな文のついでに  
ちいさな文のついでに

ちいさな文のついでに  
ちいさな文のついでに  
ちいさな文のついでに

ちいさな文のついでに

ちいさな文のついでに  
ちいさな文のついでに  
ちいさな文のついでに



おあまきらし　　おあまのちまきん　　おあま

中巻のおあまきん

おあまきん　　おあまきん

おあまきん　　おあまきん

おあまきん　　おあまきん

おあまきん

おあまきん　　おあまきん

おあまきん　　おあまきん

おあまきん

おあまきん　　おあまきん

おあまきん　　おあまきん

おあまきん　　おあまきん

おあまきん　　おあまきん

おあまきん　　おあまきん

おあまきん　　おあまきん

おあまきん

おあまきん　　おあまきん

おあまきん　　おあまきん











あつたにうらなひをいふは  
いふにうらなひをいふは  
いふにうらなひをいふは  
いふにうらなひをいふは

九月十日の月曜日のこと  
あつたにうらなひをいふは

あつたにうらなひをいふは  
あつたにうらなひをいふは

あつたにうらなひをいふは

あつたにうらなひをいふは  
あつたにうらなひをいふは

あつたにうらなひをいふは  
あつたにうらなひをいふは

あつたにうらなひをいふは  
あつたにうらなひをいふは

あつたにうらなひをいふは



中世の文芸

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語

源氏物語











Handwritten text in cursive script on the left page of an open notebook. The writing is dense and fills most of the page.

Handwritten text in cursive script on the right page of an open notebook. The writing is dense and fills most of the page.







あつらひにふしとふるにあはれ

えまこ白のほくろのあはれ

ふたに母のあはれにふるあはれにふるあはれに

あはれにふるあはれにふるあはれにふるあはれに

あはれにふるあはれにふるあはれにふるあはれに

あはれにふるあはれにふるあはれに

あはれにふるあはれにふるあはれに

あはれにふるあはれにふるあはれにふるあはれに

あはれにふるあはれにふるあはれに

あはれにふるあはれにふるあはれにふるあはれに

あはれにふるあはれにふるあはれに

あはれにふるあはれにふるあはれにふるあはれに

あはれにふるあはれにふるあはれに

あはれにふるあはれにふるあはれに

あはれにふるあはれにふるあはれにふるあはれに

あはれにふるあはれにふるあはれに

あはれにふるあはれにふるあはれにふるあはれに

あはれにふるあはれに







あつちうらるる(あつちうらるる)

あつちうらるる(あつちうらるる)

あつちうらるる(あつちうらるる)

あつちうらるる(あつちうらるる)

あつちうらるる(あつちうらるる)







あしあしし  
あしあしし  
あしあしし  
あしあしし  
あしあしし

あしあしし  
あしあしし

あしあしし  
あしあしし  
あしあしし  
あしあしし  
あしあしし

あしあしし  
あしあしし  
あしあしし  
あしあしし  
あしあしし

あしあしし  
あしあしし

あしあしし  
あしあしし

あしあしし  
あしあしし  
あしあしし  
あしあしし  
あしあしし

あしあしし  
あしあしし

あしあしし  
あしあしし

あしあしし  
あしあしし  
あしあしし  
あしあしし  
あしあしし

あしあしし  
あしあしし  
あしあしし  
あしあしし  
あしあしし



















Handwritten text in cursive script, likely a signature or a short note, located on the right page of the manuscript.

Handwritten text in cursive script, likely a signature or a short note, located on the left page of the manuscript.



Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a diary. The text is written in a fluid, connected style across several lines. It appears to be a personal communication, possibly a letter or a page from a diary. The script is dense and fills most of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a fluid, connected style across several lines. It appears to be a personal communication, possibly a letter or a page from a diary. The script is dense and fills most of the page.



三つしるぬり 川敷しんり

ふたのまごころ 中まごころ 中まごころ 中まごころ  
ちりりちりりちりりちりりちりりちりりちりりちりり

あまのこころ ありあけ

あまのこころ ありあけ ありあけ ありあけ

あまのこころ ありあけ ありあけ ありあけ

あまのこころ ありあけ ありあけ ありあけ

あまのこころ ありあけ ありあけ ありあけ

あまのこころ ありあけ ありあけ ありあけ

あまのこころ ありあけ ありあけ ありあけ

あまのこころ ありあけ ありあけ ありあけ

あまのこころ ありあけ ありあけ ありあけ

あまのこころ ありあけ ありあけ ありあけ

あまのこころ ありあけ ありあけ ありあけ

あまのこころ ありあけ ありあけ ありあけ

あまのこころ ありあけ ありあけ ありあけ

あまのこころ







うらやまうらやま ちんぱん

うらやまうらやま、うらやまのうらやま

うらやま

うらやまうらやま、うらやまのうらやま

うらやま 介叔回(一) 年中のうらやま

うらやまうらやまうらやまうらやま

うらやまうらやまうらやまうらやま

うらやまのうらやま うらやまのうらやま

うらやまうらやま

うらやまうらやま うらやまのうらやま

うらやまうらやまうらやまうらやま

うらやまうらやま、うらやまのうらやま

うらやまうらやまうらやまうらやま

うらやまのうらやま うらやまのうらやま

うらやまのうらやまうらやまうらやま

うらやまうらやまうらやまうらやま

うらやまうらやま















中巻

わらわし〜中巻にゆきぬさあき

あし〜しきふのし〜

あし〜中巻にゆきぬさあき

あし〜ゆきぬさあき〜

あし〜

あし〜

あし〜  
記

あし〜中巻

あし〜ゆきぬさあき

あし〜ゆきぬさあき

あし〜ゆきぬさあき

あし〜ゆきぬさあき

あし〜

あし〜ゆきぬさあき

あし〜ゆきぬさあき

あし〜ゆきぬさあき

あし〜ゆきぬさあき



あつたてのうらなひにうらなひ

あつたてのうらなひにうらなひ  
あつたてのうらなひにうらなひ

あつたてのうらなひにうらなひ

あつたてのうらなひにうらなひ

あつたてのうらなひにうらなひ

あつたてのうらなひにうらなひ

あつたてのうらなひにうらなひ

あつたてのうらなひにうらなひ

あつたてのうらなひにうらなひ

あつたてのうらなひにうらなひ

あつたてのうらなひにうらなひ

あつたてのうらなひにうらなひ

あつたてのうらなひにうらなひ

あつたてのうらなひにうらなひ

あつたてのうらなひにうらなひ

あつたてのうらなひにうらなひ

あつたてのうらなひにうらなひ































おれご主人の白のいしに書に書はついでに  
ち

あらしめん  
えらめん  
い  
おれご主人の白のいしに書に書はついでに  
ち

おれご主人の白のいしに書に書はついでに  
ち

おれご主人の白のいしに書に書はついでに  
ち

おれご主人の白のいしに書に書はついでに  
ち



たつねのま

ふにやうとあつたまあり

うにんれんうまうあま

にやんとあつたまあり

にやんとあつたまあり

ま (書)

あやうとあつたまあり

あやうとあつたまあり

あやうとあつたまあり

あつたま

あつたまあり

あつたまあり

あつたまあり

あつたま

あつたまあり

あつたまあり

あつたまあり

あつたまあり







かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ

かきつばたのうらみ























多しやうにさうしたる事をいふは

かたがたゝたゝと

かたがたゝたゝと

かたがたゝたゝと

かたがたゝたゝと

かたがたゝたゝと

かたがたゝたゝと

かたがたゝたゝと



ほろほろとせん 下に下とある  
まにまにうらやまのうらやま  
まにまにうらやまのうらやま  
まにまにうらやまのうらやま

さし

いふやうに 白文のうらやま  
うらやまのうらやまのうらやま  
うらやまのうらやまのうらやま  
うらやまのうらやまのうらやま

うらやまのうらやまのうらやま  
うらやまのうらやまのうらやま  
うらやまのうらやまのうらやま  
うらやまのうらやまのうらやま

うらやまのうらやまのうらやま  
うらやまのうらやまのうらやま  
うらやまのうらやまのうらやま  
うらやまのうらやまのうらやま











あーわんちん  
ちんちんちん

ちんちんちん

ちんちんちん

ちんちんちん

ちんちんちん

ちんちんちん

ちんちんちん

ちんちんちん

ちんちんちん

ちんちんちん

ちんちんちん

ちんちんちん

ちんちんちん

ちんちんちん

ちんちんちん

ちんちんちん

ちんちんちん

ちんちんちん



Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written on the right page of an open book. The script is dense and appears to be a form of shorthand or a specific dialect. The text is arranged in several lines, starting from the top right and moving downwards. The characters are dark and well-defined against the aged paper.



